

(2) 岡山県立大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	第1Q	2024年4月10日	～	2024年6月11日
		第2Q	2024年6月12日	～	2024年8月9日
	後期	第3Q	2024年9月24日	～	2024年11月25日
		第4Q	2024年11月26日	～	2025年2月10日
試験期間	第1Q		2024年6月5日	～	2024年6月11日
	前期・第2Q		2024年8月5日	～	2024年8月9日
	第3Q		2024年11月19日	～	2024年11月25日
	後期・第4Q		2025年2月4日	～	2025年2月10日
授業時間	1限		8:40	～	10:10
	2限		10:20	～	11:50
	3限		12:40	～	14:10
	4限		14:20	～	15:50
	5限		16:00	～	17:30

② アクセス(案内図)

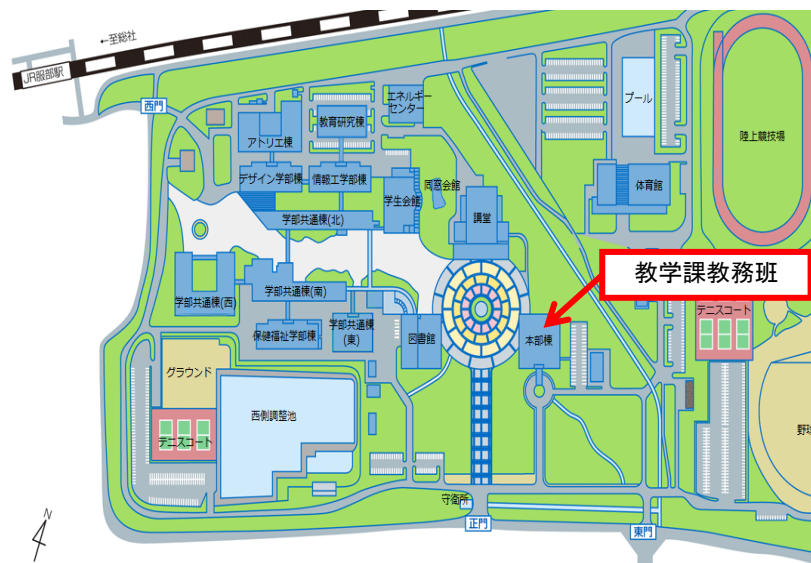
- JR 桃太郎線・服部駅(JR 岡山駅から 25 分)から徒歩 5 分。
- 岡山自動車道・岡山総社 IC から車で 5 分。



③ 担当窓口

教学課教務班

所在地:



電話: 0866-94-2111(代表)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

申込受付期間どおり。

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

1. 対面授業科目の履修者は、以下の印刷物を配布しますので、初回授業時に必ず受け取りに来てください。また、その際、講義室の場所をお知らせしますので、時間の余裕を持って来てください。

- ①履修案内
- ②シラバス(該当科目)
- ③授業時間割表
- ④学生便覧

2. 自動車通学を希望する場合は、許可が必要です。初回に来学された際にお問い合わせください。

・ 施設利用

岡山県立大学在学の学生と同じ扱いとします。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

https://www.oka-pu.ac.jp/guide/guide_detail/index/17.html

(岡山県立大学HP→大学案内→教育情報の公表→授業科目、授業内容、授業計画に関すること)

・遠隔授業科目

遠隔授業(教養教育科目)				02101
社会連携要論			岩満 賢次	
The Elements of Social Cooperation				
1 年次	1 単位	第2Q	1 コマ	
<p>【授業の目的】 人生の移行期にいる大学生が、そのキャリア形成においてより豊かに成長していくためには、サービスラーニングを実践していくことが重要である。社会や地域のなかにある諸課題を取り上げながら、社会や地域を創生していく体験が学生の成長には必要である。そのため、大学生がサービスラーニングに参画することが重要となる。本講義では、学生がキャリア形成を行う上で、社会連携活動を通じたサービスラーニングの実践を学ぶことにより、社会や地域の諸問題を発見し、どのように解決に向けたアプローチを形成していくかという方法論の基本的視点を習得していくことを目的としている。</p> <p>なお、本講義は岡山県立大学副専攻岡山創生学課程の基礎科目である。</p>				
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.高等教育における社会連携教育の導入 2.学生の成長と社会連携教育 3.社会連携教育におけるサービスラーニングの意義の理解 4.サービスラーニング実践事例の理解 5.SDGs の概念と社会連携 6.SDGs 推進の取り組み①NPO・ボランティアの役割 7.SDGs 推進の取り組み②企業の役割 8. SDGs 推進の取り組み③行政の役割 				
<p>【テキスト】 岩満賢次(2023)『社会連携要論:学生と社会をつなぐ新しい教育』DTP出版 その他資料を配付することがある。</p>				
<p>【参考図書】 岡本栄一監修『ボランティアのすすめ』ミネルヴァ書房など</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み状況(授業時の課題)(40%)、総括レポート(60%)</p> <p>※岡山県立大学以外の学生が授業を希望する場合は授業後の録画配信となります。授業をそのまま録画しますので、クオリティは保証できませんので、ご了承ください。</p>				

・対面授業科目

対面授業(専門教育科目)				02001																
国際家族政策論			近藤 理恵																	
International Family Policy																				
3~4 年次	2 単位	前期	週1コマ																	
<p>【授業の目的】 本講義では、各国の福祉レジームと家族政策の類型について示した後、日本を含めた各国の家族政策の全体像について講義する。その上で、①ワークライフバランス、②ひとり親家族、③子ども虐待、④フォスター・ケア、⑤パートナー間のドメスティック・バイオレンス、⑥国際結婚家族に関する政策とファミリー・ソーシャルワークについて講義し、最終的には今後の日本の家族政策のあり方について検討する。</p>																				
<p>【授業内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型</td> <td>9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td>13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)</td> <td>14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> </tr> <tr> <td>7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)</td> <td>15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク</td> </tr> <tr> <td>8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)</td> <td></td> </tr> </table>					1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク	8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	
1. 各国の福祉国家のレジームと家族政策の類型	9. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
2. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	10. 各国のフォスター・ケア政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
3. 各国のワークライフバランス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	11. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
4. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	12. 各国のドメスティック・バイオレンス政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
5. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)	13. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)																			
6. 各国のひとり親家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(3)	14. 各国の国際結婚家族政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																			
7. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(1)	15. 日本に求められる家族政策とファミリー・ソーシャルワーク																			
8. 各国の子ども虐待政策とファミリー・ソーシャルワーク(2)																				
<p>【テキスト】 プリントを使用</p>																				
<p>【参考図書】 「日本、韓国、フランスにおけるひとり親家族の不安定さのリスクと幸せ」近藤理恵著、学文社、2013 年 「グローバル時代における結婚移住女性とその家族の国際比較研究」中嶋和夫監修、ユン・ジョンス、近藤理恵編、学術出版会、2013 年 『世界の子どもへの貧困対策と福祉関連 QOL』黒木保博監修、中嶋和夫、近藤理恵編、学文社、2018 年</p>																				
<p>【成績評価の方法】 小レポート(50%)と最終レポート(50%)によって評価する。</p>																				

対面授業(専門教育科目)				02002
サービスマーケティング論			喜村仁詞	
Service Marketing				
2 年次	2 単位	前期	1 コマ	
<p>【授業の目的】 サービスマーケティングに関する理論について、事例等を中心に用いることで理解を深めます。はじめに、マーケティング理論の関する基礎的な知識を身につけ、その上で、サービスについて学ぶことで、サービスが持つ特性に応じた顧客とのコミュニケーションを理解することを目的とします。</p>				
<p>【授業内容】 1.ガイダンス: サービスマーケティングとは 2.価値って誰が決めるのか？ 3.消費者の購買行動には法則がある 4.置かれた環境を分析する 5.売れるための秘訣を考える 6.ブランドとは？ 7.ロングセラーの秘訣 8.顧客に伝えるべき内容とは？ 9.新たな価値の創造 10.前半のふりかえり 11.サービスとは？ 12.サービスの事例 1 13.サービスの事例 2 14.サービスの事例 3 15.後半のふりかえり</p>				
<p>【テキスト】 指定しない。資料を配付することがある。</p>				
<p>【参考図書】 特になし</p>				
<p>【成績評価の方法】 授業への取り組み状況(授業時の課題)(20%)、レポート(80%)</p>				

対面授業(専門教育科目)				02003
符号理論			榊原 勝己	
Coding Theory				
3 年次	2 単位	後期	1 コマ	
【授業の目的】 講義では、線形代数あるいは論理数学に基づいて構成された誤り訂正符号の基礎理論と、最も簡単な誤り訂正符号であるハミング符号の論理回路による実現について学びます。また、誤り検出符号を利用した様々な自動再送制御方式の概要とその違いや性能を学習します。				
【授業内容】 1. 通信路雑音の原因、ビット誤り率 2. 誤り訂正符号の原理(繰返符号、ハミング距離、距離の三公理) 3. 誤り訂正符号の原理(最小距離と誤り訂正能力) 4. 誤り訂正符号の原理(生成行列、検査行列) 5. ハミング符号(生成行列と符号化法) 6. ハミング符号(検査行列と復号法、シンドローム) 7. 線形符号(線形空間と誤り訂正符号、符号化法と復号法) 8. 線形符号(拡張符号、短縮符号、パンクチャー符号) 9. 巡回符号(ベクトル表現と多項式表現、巡回符号の性質) 10. 巡回符号(線形符号との対比による符号化法と復号法) 11. 巡回符号の符号化回路 12. 巡回符号の復号回路 13. 様々な誤り訂正符号 14. 自動再送制御方式 15. ハイブリッド ARQ				
【テキスト】 使用しない。テキスト教材を配付することがある。				
【参考図書】 三谷政昭(著)、「[改訂新版]やり直しのための工業数学(情報通信編)」、CQ 出版など				
【成績評価の方法】 定期試験(60%)、小テスト(30%)、ミニツツペーパー(10%)				

対面授業(学部教育科目) ※リアルタイムオンライン併用可(期末試験を除く)				02004
設計工学・生産システム			妻屋 彰	
Design Engineering and Manufacturing Systems				
3 年次	2 単位	後期	1 コマ	
【授業の目的】 ものづくりにおいては、要素技術に加えてそれらを活用し組み合わせることによって、「なにを」「いつ」「どのように」つくるのか、ということが重要である。近年のものづくりを取り巻く状況の変化により、設計や生産などのものづくり技術についても、体系化が必要となってきた。本講義では、製品やサービスなどのシステムの設計開発および生産システムや生産管理に関する工学の基本的な理論・方法論・方法を修得することを目的とする。				
【授業内容】 1. 設計・生産とは、現代のものづくり 2. 人工物・ものづくりの歴史と進化 3. 製品／システムの価値・評価 4. プロジェクト・スケジューリング 5. 設計の理論・方法論1(ドイツ流設計方法論) 6. 設計の理論・方法論2(公理的設計方法論) 7. 設計の理論・方法論3(一般設計学) 8. 問題解決プロセスとその方法1(問題構造の把握:ISM 法, QFD) 9. 問題解決プロセスとその方法2(機能のモデリング:IDEF0, UML) 10. 問題解決プロセスとその方法3(意思決定法:AHP) 11. 生産システム1(生産設計, レイアウト設計) 12. 生産システム2(生産形態, トヨタ生産方式) 13. 生産管理1(生産計画) 14. 生産管理2(生産スケジューリング) 15. 生産管理3(在庫管理) 16. 期末試験				
【テキスト】 特に指定しない。Web やメール等で適宜資料を配布する。				
【参考図書】 講義中に適宜紹介する。				
【成績評価の方法】 期末試験(70%)、講義中の演習および宿題(30%)				

対面授業(専門教育科目)				02005
組み込みシステム			有本 和民	
Embedded Systems				
3 年次	2 単位	前期	1 コマ	
【授業の目的】 組み込みシステムの全体像を理解し、それを構成するハードウェア、ソフトウェアの基本構成について理解する。また組み込みシステム設計に必要なとされる基本知識を習得する。				
【授業内容】 1 授業の概要の説明 2 組み込みシステムの概要1 3 組み込みシステムの概要2 4 組み込みハードウェア設計概要 5 組み込みソフトウェア設計概要 6 組み込みプロセッサ1 7 組み込みプロセッサ2 8 組み込みネットワーク 9 ソフトウェア開発環境 10 ソフトウェアプラットフォーム 11 ソフトウェア開発方法の基礎 12 ソフトウェアの設計・検証 13 カーエレクトロニクス 14 センサネットワーク 15 IoT 16 組み込みシステム最新動向				
【テキスト】 「組み込みシステム概論」、情報処理学会 組み込みシステム研究会 監修 戸川 望 編著、CQ 出版社				
【参考図書】 「組み込みシステム」、阪田史郎・高田広章 著、オーム社 「マイクロコンピュータの基礎」、森下 巖著、昭晃堂				
【成績評価の方法】 授業への取り組み状況(授業時の課題等)(20%)、レポート(80%)				

対面授業(専門教育科目)				02006
行動情報科学			綾部 誠也	
Coding Theory				
3 年次	2 単位	前期	1 コマ	
【授業の目的】 行動情報科学では、ヒトの行動を包括的に科学的に理解するための行動・動作の生理メカニズムや個人・集団の行動の計測・分析方法について学習する。身体の行動情報を科学的に分析する手法、集団行動の評価、数値解析、統計手法の解析などを学習する。				
【授業内容】 1. 身体行動の科学 2. ヒト行動の進化 3. 動物とヒトの行動 4. 身体行動と認知・脳情報 5. 食行動の科学 6. 行動と情動の科学 7. 身体行動と発育発達・加齢 8. 行動変容の科学 9. サーガディアンリズムと行動 10. 行動の身体負担の推定原理 11. 身体活動の評価技術 12. 身体行動の客観的評価(身体活動) 13. 身体行動の客観的評価(睡眠) 14. 日常生活行動の解析・分析(個人) 15. 日常生活行動の解析・分析(集団)				
【テキスト】 使用しない。テキスト教材を配付することがある。				
【参考図書】 など				
【成績評価の方法】 小テスト・ミニツツペーパー(60%)・定期試験(40%)				

対面授業(専門)			02007
森林生態学・地盤工学		穂苅 耕介	
Forest Ecology and Geotechnical Engineering			
3年次	2単位	通年集中	
<p>【授業の目的】 建築をつくることは、人間と自然との関係を再構築する行為といえる。気候変動による多くの災害やパンデミックに直面している現代社会において、環境の正しい理解なしに建築を考えることは不可能である。そのためには、森林や地盤構造に対する正しい理解が必須である。また、戦後の建設資材としての製材増産のための自然林から人工林への転換、および経済合理性優先の宅地開発等による地盤の軟弱化が、現在の気候変動による災害の甚大さをもたらす大きな要因のひとつになっている。本科目は森林や地盤についての基本的な知識を修得し、環境から導かれるこれからの建築デザインについて考える素地を滋養することが目的である。</p>			
<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. キャンパス内散策 3. 森林と人類の歴史 4. 森林とは 5. 森林生態系 6. 森林の役割 7. 森林の管理 8. 木材の利用 9. 岡山県の森林 10. 今後の方向性 11. 地盤形成学 12. 軟弱地盤対策 13. 砂質地盤対策 14. 地盤掘削論 15. 建物の防災論 			
<p>【テキスト】 教科書は使用しない</p>			
<p>【参考図書】 河野伊一郎・八木規男・吉国洋編著：「土の力学」技法堂出版、1990 林野庁「森林・林業白書」 岡山県「21おかやま森林・林業ビジョン(改訂版)」</p>			
<p>【成績評価の方法】 取り組み態度(20%)、総括レポート(80%)</p>			

対面授業(副専攻科目)				02008
木構造学・木構造デザイン			向山 徹	
Wood Structure and Wood Structure Design				
3年次	2単位	通年	15コマ	
【授業の目的】 建築構造の中の、木構造についての基本的な考え方に習熟すると同時に、構造的観点からのデザインについて、実例を通じて学び、木造で建築を考える感覚を涵養する。				
【授業内容】 1. 木構造デザインの基礎(1)(木の性質と木の組み方) 2. 木構造デザインの基礎(2)(木組みとデザイン) 3. 木構造デザインの応用編(1)(実例を通じた解説) 4. 木構造デザインの応用編(2)(実例を通じた解説) 5. 木構造デザインの応用編(3)(実例を通じた解説) 6. 在来軸組構法の耐震設計の概要(1) 7. 在来軸組構法の耐震設計の概要(2) 8. 在来軸組構法の耐震設計の概要(3) 9. 在来軸組構法の耐震設計の概要(4) 10. 在来軸組構法の耐震設計の概要(5) 11. 素材と構法について 12. 巨匠と構法について 13. 木構法応用編(4)(実例を通じた解説) 14. 木構法応用編(5)(実例を通じた解説) 15. 木構法応用編(6)(実例を通じた解説)				
【テキスト】 指定しない。テキスト教材を配付することがある。				
【参考図書】 「木質構造」杉山英男著、共立出版。「世界で一番やさしい木構造」山辺豊彦、エクスナレッジ。				
【成績評価の方法】 出席と授業態度(20%)、レポート(80%)				

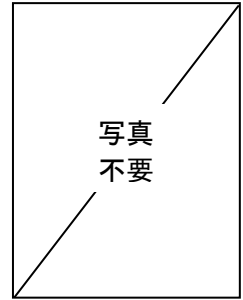
大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

* 学生は太枠内のみ記入

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

岡山県立大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな				
氏名				



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等				
学部・学科・学年	学部	学科	年	
学生番号	生年 月日	西暦 年		
		昭和・平成	年	月 日
現住所	〒 — Tel () —			
メールアドレス	@ (大学で付与されたメールアドレスを記入してください)			

* 履修受付締切日：前期：4月4日(木)まで 後期：9月19日(木)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
遠隔授業科目										
02101	社会連携要論	教養	岩満 賢次	1	第2Q	1	オンデマンド配信	水 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
対面授業科目										
02001	国際家族政策論	専門	近藤 理恵	2	前期	3~4		木 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02002	サービスマーケティング論	専門	喜村 仁詞	2	前期	2		金 14:20~15:50	<input type="checkbox"/>	
02003	符号理論	専門	榊原 勝己	2	後期	3		金 8:40~10:10	<input type="checkbox"/>	
02004	設計工学・生産システム	専門	妻屋 彰	2	後期	3	オンライン併用可 (期末試験を除く)	火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02005	組込みシステム	専門	有本 和民	2	前期	3		火 10:20~11:50	<input type="checkbox"/>	
02006	行動情報科学	専門	綾部 誠也	2	前期	3		水 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
02007	森林生態学・地盤工学	専門	穂苅 耕介	2	通年集中	3	集中授業 8月下旬予定 (5コマ×3日間)		<input type="checkbox"/>	
02008	木構造学・木構造デザイン	専門	向山 徹	2	通年集中	3	集中授業 8/26~28 (5コマ×3日間)		<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー、4cm×3cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0枚	0枚	0枚

